

卒業生2人が石川県教員合格

国語 畑山さん、英語 橋さん

平成二十年度の石川県教員採用候補者試験で、金沢学院大学の卒業生2人が中学校の国語と英語の教員にそれぞれ合格しました。採用が決まったのは、平成十四年三月に文学部英米文学科を卒業した橋美由紀さん(27)と金沢商業高校出身、金沢市在住の二人です。

このうち橋さんは石川県内の中学校、養護学校で講師を務めて実務経験を積む人です。

第三者評価に伴い実地調査

金沢学院大で高等教育評価機構

日本高等教育評価機構による金沢学院大学の実地調査は十月二十三、二十四日に実施されました。自己評価基準の各項目について評価員と教職員が面談したほか、学生、後援会・同窓会長との面談、学内視察などが順次行われました。



評価員と本学関係者との顔合わせ 短大第一会議室

この実地調査は、平成十六年度の学校教育法改正により、すべての大学に七年一度義務付けられた第三者評価の一環として実施されました。



初日に行われた本学関係者と評価員の顔合わせでは

青山名誉教授に北國文化賞

金沢学院大学名誉教授で、学校法人金沢学院監事の青山克彌氏(泉鏡花記念館長)が第六十回北國文化賞に選ばれ、十一月三日に北國新聞会館で表彰式が行われました。

青山名誉教授は、戦国軍記など北陸の古典文学の発掘に努めた業績が認められ

本学関係者 11人が入選

第39回日展 来月9日まで東京展 金沢展は来年4月に

第三十九回日展の入選者がこのほど発表され、金沢学院大学、短期大学の学生、卒業生、教員合わせて十一人が入選しました。このうち新入選は美術工芸学科の今崎瞳さんら三人です。

また、美術文化学部からは日展常務理事の大樋長左衛門学部長、中路融人、村田省蔵両教授、審査員として武腰敏昭教授、中町力准教授と滝川真人東高校非常勤講師が出品しています。

第三十九回日展は十二月九日まで東京の国立新美術館で開催され、巡回金沢展は来年四月二十六日から五月十八日まで、金沢21世紀美術館で開かれます。



新聞感想文で2人佳作 金沢学院東高校一年の下夕樹さんと同三年の梅悠樹君が北國新聞社主催の第三回「新聞を讀んで」感想文コンクールで佳作に入賞しました。また、金沢学院東高校が三年連続で優秀学校賞に選ばれました。

入選した本学関係者(敬称略)と作品名は次の通り。
【新入選】 日本画 今崎瞳「街」 美術工芸学科 3年、原千紗「夜に開く」
「専攻科、萩野佳乃子」朝の踏切」 卒業生
【再入選】 日本画 本明千怜「シロクマ」 専攻科、山内登喜雄「六月の風景」 卒業生、山下晃世「鳥の花」 同、平木孝志「遊」
「短大教授、小木曾登」お友達」 非常勤講師 洋画 青木良識「草を食む」 卒業生・東高校教諭 陶芸 魚津悠「illusion」 専攻科、羽場文彦「大地より沸き出でるもの」 講師